

◆ 情報端末必携に関する Q&A ◆

Q1 : 既にノートパソコンを持っていますが、新たに購入する必要がありますか？

A1 : 広島国際大学では、大学推奨スペックを定めております。その仕様に沿ったノートパソコンであれば、新たに購入される必要はありません。

Q2 : 自宅では、ノートパソコンを使用するためのネットワーク環境が整っていないため、大学で使用できれば問題ありませんか？

A2 : 大学内では、無線 LAN を全館完備していますので、学内でのネットワーク接続はもちろん可能ですが、教材の確認やレポート・課題作成等の事前・事後学修のため、自宅でのネットワーク環境の整備・充実をお願いします（授業によっては、映像配信により 1 回の授業で 500MB 程度の通信容量を必要とする場合もあります）。また、学生寮・学生研修棟であれば、インターネット会社と直接契約を行うことで、月額 1,200 円で契約することが可能です。

Q3 : 大学から販売案内されたパソコンと家電量販店等で販売されているパソコンでは何か違いがありますか？

A3 : 大学から販売を案内するノートパソコンを購入する場合は、アカデミックサポートとしてメーカー保証期間（通常 1 年）を大学生活に合わせた 4 年間または 6 年間に延長し、メーカー保証期間中の修理は無償で対応します。さらに、メーカー保証適用外のトラブルについても、保証限度額内において 5,000 円（税別）にて修理が可能です。詳細については、本学 HP にて周知いたしますのでご確認ください。

参照 : 広島国際大学 HP

URL : <https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/facility/education/pre-entrance/index.html>



Q4 : ノートパソコン故障時等、修理に出している間ノートパソコンが一時的にない場合はどのようにしたら良いですか？

A4 : ノートパソコンの故障時等の対応のため、数に限りはありますが一時的な貸し出し用のノートパソコンを大学で用意しています。特別な理由により貸し出しが必要な場合は、教育・学生支援機構教務係までご相談ください。また、授業時間以外に大学の情報教育施設（情報演習室等）を利用できるよう『オープン利用』を行っており、情報演習室等に設置のパソコンを利用することもできます。

Q5 : Microsoft Office がインストールされていないノートパソコンを購入しても大丈夫ですか？

A5 : 大丈夫です。在学期間中は、本学が契約している、Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint、Outlook 等）が無償で利用可能です。これから新規に情報端末を購入する場合は Office がプレインストールされたモデルを購入する必要はありません。ただし卒業後はライセンスが失効します。入学後、配付されるアカウント登録情報をもとに、Office365 ページにログインし、各自でインストールを行います。詳細については、入学後、情報センター学内専用ホームページにて確認してください。

Q6 : Apple 社の MacBook を持っているのですが、必携パソコンの扱いになりますか？

A6 : Apple 社のパソコンの標準 OS は、Windows ではないため、本学の推奨スペックの仕様を満たしておりません。Windows でしか動作しないソフトウェア等を利用しますので、そのままでは学修に支障が生じる可能性があります。OS が Windows のパソコンをご用意ください。

Q7 : パソコンの設定に自信がありません。入学後、大学で教えてもらうことは可能ですか？

A7 : 入学後、学内のネットワークへの接続方法や学内システムの利用方法などについて説明する予定です。入学後にご案内します。

Q8 : ウイルス対策ソフトについて、指定はありますか？

A8 : 特に指定はありません。Windows 標準搭載の Windows Defender で差し支えありません。

Q9 : 推奨 OS「Windows11」と記載されていますが、Home と Pro のどちらを選べば良いでしょうか？

A9 : Home または Pro のいずれのエディションでも構いません。各エディションは「S モード」に設定され販売されている場合があります。購入の際は「S モード」以外をお選びください。

Q10 : 大学推奨スペックの欄に HDD と記載がありますが、SSD 搭載のパソコンではなく、HDD 搭載のパソコンでも問題ないのでしょうか？

A10 : HDD は SSD のパソコンと比べて、安価で保存できるデータが大きいことがメリットとして挙げられます。しかし、内部構造が複雑で振動や衝撃に弱いため、耐久性、処理速度、消費電力のことを考えると、SSD 搭載のノートパソコンのほうが快適に利用できることから、大学として SSD を推奨します。

Q11 : タブレット型パソコンを購入する際は物理キーボードとマウスを使用できることが条件となっています

が、必ず購入しなければならないのでしょうか？資料の閲覧のみでは必要にないように思います。

A11：大学で行う授業は資料の閲覧はもちろんのこと、授業によってはレポートを課されることもあります。また、卒業論文等を作成することもありますので、物理キーボード（着脱式や外付けのキーボードでも可）があると便利に利用することができます。また、社会に出たときにキーボードが打てることは必要なスキルと考えていますので、併せて購入することを推奨します。

Q12：バッテリー駆動時間が8時間未満の場合、利用に問題はありますか？

A12：利用自体に問題ありませんが、今回必携化に際し推奨しているパソコンは4年間または6年間を使用することを前提としております。使用当初は問題なく使えていたとしても、バッテリーは劣化することが予想されますので、推奨仕様を満たした駆動時間の方が快適に利用できると考えます。なお、バッテリーの充電ができる部屋（ラーニング・commons等）はございますので、充電が切れた際は、学内で充電することが可能です。

Q13：入学するまでにプリンターは購入した方が良いでしょうか？

A13：授業によってはレポート等の提出課題を求められることがあります。本学にも印刷できる部屋がありますが、課題提出時期等には利用者が増加し、印刷するまでに時間がかかることもあります。自宅にプリンターがあると、時間や手間を抑え気持ちに余裕をもって課題に取り組むこともできます。また、コンビニ等で印刷するより、プリンターで印刷した方が、印刷代を安く抑えられるケースが多いため、入学後、印刷量が多い場合には、プリンターを購入することをお勧めします。なお、購入する際には、対応 OS（Windows 11 などの名前のこと）の確認が必要ですので、注意してください。